

会報



令和6(2024) 9.10
No.148

〒420-0853 静岡市葵区追手町3番11号 しずおか焼津信用金庫追手町ビル6階
TEL:054-255-4678 FAX:054-255-4699



URL <https://www.hs-pta-shizuoka.net/>
E-mail post@hs-pta-shizuoka.net



会長あいさつ

静岡県公立高等学校PTA連合会

会長 住吉 明

令和六年度、静岡県公立高等学校PTA連合会の会長を務めさせて頂いたことになりました。住吉明と申します。皆様には日頃より本会の活動に對しまして、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが昨年五月に季節性インフルエンザなどと同じ「五類」に移行したことで、外出自粛の要請などはなくなりました。まだ感染拡大の可能性はありますが、コロナ対策は大きな節目を迎えました。現在では、文化祭などの学校行事が人数制限なしで開催されるなど、通常の学校生活を少しずつ取り戻してきていますが、この三年間で、過去のPTA活動をよく知っている保護者や先生方の入れ替わりなどで、PTA活動を以前のような取組に戻すことは難しいと感じている方は、きっとたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、このような状況の中でも、子どもたちは常に前を向き「いま何ができるか」を考え、自分たちが進むべき道を歩み続けています。私はあらためて子どもたちの困難に立ち向かう力、できることを全力で楽しむ姿勢に感心させられています。そういった子どもたちをサポートし、充実した高校生活を送れるよう、PTAとしてご尽力を賜りたいと願っております。また、社会を取り巻く環境は、急速な情報化や技術革新に加え、自然環境

問題や少子高齢化問題など、予想をすることが困難な状況となっております。このような状況の中、過去のPTA活動を参考にしながらも、柔軟に新しい時代に対応した活動を取り入れていくことも必要であります。PTA活動の目的は「教育課題の共有や解決」「学びや交流」「地域とのつながり」などがあり、「子どもたちのために保護者と学校が話し合う場」であると私は考えています。PTAという組織として、できることはまだまだ多くあると思います。「人とのつながり」を大切に、そしてPTA活動を楽しみながら新しい時代を切りひらく子どもたちの成長を支えられるよう活動を充実させていきたいと思います。

本年度は例年通りの事業と並行して、令和七年度に行われます「東海地区高等学校PTA連合会静岡大会」の準備も進めております。静岡大会を成功させるためには、皆様のご支援ご協力が不可欠です。ご苦勞をおかけしてしまいかも知れませんが、より一体感を持つて静岡大会に臨み、その成功という達成感を一緒に味わえるよう役員一同頑張つてまいります。

本年度も学校・家庭、そして各教育関係機関と連携を図り、PTA活動を推進出来ればと思っておりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

Contents 目次

静岡県公立高等学校PTA連合会 会長あいさつ	1
令和6年度 静岡県公立高等学校PTA連合会 報告	
静岡県公立高等学校PTA連合会 総会・研修会	2
東海地区高等学校PTA連合会 三重大会	4
学校・PTA紹介	
静岡県立三島北高等学校・PTA	5
静岡市立高等学校・PTA	5
静岡県立天竜高等学校・PTA	6
静岡県立吉田特別支援学校・PTA	6
高校生の健康・安全に係る事業紹介 県教育委員会 健康体育課	7
社会総がかりで取り組む教育 県教育委員会 社会教育課	7
令和6年度 単位PTA 会長名簿	8
令和6年度 静岡県高P連 役員名簿	8

令和七年度

東海地区高P連大会は、
静岡県が開催県です

日時 令和七年六月二十七日(金) 午後一時〜四時

会場 静岡市清水文化会館マリナート
研究発表校 静岡県立浜松特別支援学校PTA
岐阜女子高等学校PTA

研修会(講演会)
演題 『いい子症候群の若者たちと
前へ進むために』(仮題)

講師 金間大介氏(金沢大学教授)



令和6年度 静岡県公立高等学校PTA連合会 報告

- 1 静岡県高P連 総会・研修会
期日 6月7日(金) 午後1時30分から 会場：ホテルグランヒルズ静岡
- 2 東海地区高P連 総会・三重大会
期日 6月21日(金) 会場：三重県文化会館
午前10時から総会、午後1時から大会(研究協議・講演会)
- 3 第73回全国高P連大会 茨城大会(現地開催・オンライン開催併用)
期日 8月22日(木) 午後：開会行事・分科会
8月23日(金) 午前：表彰式・記念講演・閉会行事
会場 アダストリアみとアリーナ 他4会場
※茨城大会の報告は、次号(149号)に掲載します。

静岡県公立高等学校PTA連合会 総会・研修会

荒天の中での開催で、多大なご迷惑をおかけした昨年の県高P連総会でしたが、令和6年度は天候の心配がなく、昨年度より六十名ほど多い三三四名の会員の皆さまの出席をいた



だいて、6月7日(金)に無事開催することができました。総会及び研修会の司会は、本会の中里功副会長が務めました。また、当日

の運営補助員として、静岡市葵区・駿河区の公立高等学校各校のPTA会員十名の皆様に、午前・午後に分かれて来場していただき、午前の方は、主に総会資料や感謝状の準備、午後の方は会場設営や受付誘導をお願いしました。改めまして、お礼申し上げます。

【総会】

(1)三輪会長あいさつ

昨年度は大雨の中の開催で、多くの方に迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。またこの後の本日の議事の中でも報告がありますが、多くの会員の皆さまに各地区PTA指導者研修会、東海地区大会、全国大会など積極的にご参加いただき、心から感謝しております。

さて、私事になりますが、最近「不適切にもほどがある」というテレビド

ラマを見て、令和と昭和の価値観の相違を考えさせられました。昨年度、私は全国高P連では「進路対策委員会」に属しており、何回か会議に参加させていただきました。この委員会の中で実施し、本県の三つの高校にも協力いただいたアンケート調査の中で、「やりたいことをやれ」という保護者と「やりたいことが分からないからもつと助言をくれ」と求める子どもたちとの大きなギャップが見られたという報告は、まさに求めるものの相違です。

VUCAの時代などと呼ばれる現代は、私たちが経験してきた時代とは全く異なる特質を持っています。現在、本県の教育界で進められているのが「個別・最適の学習」や「探究的な学び」であるわけですが、新しい時代に適応していくためにも、子どもたちばかりでなく、保護者もしっかり調べ学んでいくことが重要であると思います。PTA活動は、保護者にとつての学びという側面があります。そういった意味で、本日の研修会で学び、新しい知識を見出していただき、それを各校にしっかりと持ち帰っていただければありがたいなと思います。本年度もよろしくお願いいたします。

(2)表彰式

単位PTA会長退任者百十一名、校長理事退職者一名、県高P連本部役員退任者四名の合計百十六名の方に、三輪会長から感謝状と記念品が贈呈されました。

被表彰者の皆さまを代表して、静岡県立榛原高等学校前PTA会長・大石昌広様と、県高P連名誉顧問・小山全司様から、心のこもったお礼の言葉をいただきました。大石様「この感謝状は、県立榛原高等学校の頼りになる十二名のPTA本部



表彰を受ける代表のお二人

役員や先生方など、たくさんの方々の手助けがあったからこそいたっているもので、私一人への感謝状ではありません。三年間のPTA本部役員としての活動で、最初に頼まれた時は根負けして受けた部分もありましたが、今思えばやってよかった活動でした。いろいろな取組で、生徒の皆さんの姿を身近に見ることができました。『朝のあいさつ運動』では、立ち止まって一礼してこちらにあいさつを返す姿に感動したり、文化祭のPTA企画では、コロナ禍で飲食を伴う活動をやめてチェキを使った記念写真撮影に喜ぶ姿を見ることができたり、体育祭では、給水支援で生徒とのちよつとしたやりとりが楽しかったり、周囲の方々からは会長大変だねと言われても全然そんな風には思いませんでした。会長が終わった今年度も、顧問として単位PTAに関わり続けていきます。PTAを取り巻く環境は大きく変化しています。が、やはり学校にとつて必要な存在だと思えますし、PTAには可能性があります。

す。これからは静岡県の公立学校のPTA活動を、他県がうらやむくらい皆で盛り上げていきましょう。本日はありがとうございました。小山様「本日は、表彰の名誉をいただきました。大変光栄に思います。静岡県公立高等学校PTA連合会や安全振興会などで十二年もの間役職を務め、よい経験をさせていただきました。これは、私の財産だと思っています。私と県高P連との関わりの始まりは、単

位PTA会長であった平成二十三年年度の全国高P連大会の県情報交換会の場で、次年度の県副会長への就任を依頼されたことから始まります。当時は、Societyが提唱され、教育界にとっても大きな変化の始まりの時代であったと記憶しています。そして、県会長に就任してからは、いじめ防止の基本方針の策定に関わったり、東海地区や全国高P連の会合に参加したりしました。そして平成二十九年には、巡り合わせで五十年に一度の全国高P連大会が回ってきました。この時は、大会実行委員長であった杉浦氏や他の役員の方々どこにも負けない静岡大会にしようとの二年間にわたって奮闘しました。この時のメンバーは今でも良い仲間になっています。PTAの役割とは、教育環境を整備し、子どもたちの健全育成を図り、安全安心な学校生活を実現していくことにあります。子どもたちのためのPTAという目的をしっかりと掲げて、保護者が協力し、自分たちも学び行動できる組織として県高P連を盛りあげていってほしいと思います。」

(3) 祝辞

続いて、ご臨席の来賓の方々を代表して、県教育委員会教育長・池上重弘様から、以下の祝辞をいただきました。「本日は、令和六年度静岡県公立高等学校PTA連合会の総会が盛大に開催されますこと、誠におめでとうございます。会長をはじめ、会員の皆様方には、日ごろ、高等学校、特別支援学校の教育活動に対しまして、多大なご支援をいただくとともに、家庭教育の充実や青少年の健全育成にもご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、本日表彰を受けられた皆さま方におかれましては、PTA活動の振興にご尽力を賜り、敬意を表するとともに心よりお喜び申し上げます。」

さて、県内の児童生徒の活躍は、学業、スポーツ、芸術分野はもちろん、地域の商品開発や課題解決、海外交流など野のめざましい活躍が報告されています。県の教育委員会では、令和六年四月、多部署単位制の『フレックスハイスクール』、新しい形の学校である『ふじのくに国際高等学校』を開校するなど、子どもたちが広い世界で、一人ひとりの能力、その適性、成長等に応じ、それぞれの資質を十分に伸ばして、予測困難なVUCAの時代にたくましく生きる力を育んでいくために、様々な施策を進めていきたいと考えております。昨今デジタル社会やグローバル化の進展など、青少年を取り巻く環境は急速に変化しております。私たちの年代では、青春時代に一人一台の電話を持つことなどあり得ませんでしたし、友人との電話連絡をする場合には、相手の家族に取り次いでもらうところからコミュニケーションが始まりました。それが今は一人一台端末になって、電話に加えてSNS等便利なツールでコミュニケーションが図られています。しかし、その一方で、そうしたツールが犯罪やいじめにも使われてしまっている現状があります。さらに子どもの貧困や虐待など、かつては顕在化していなかった現象が目に見えるようになって、青少年が抱える問題や直面する社会の在り方が非常に複雑化していることは、皆さま感じていらっしゃると思います。今、学校教育では、『探究』という言葉が、キーワードになっています。『究』とは極めることであり、学びの在り方を示しています。自分なりの課題を打ち立て、必要な情報を集め、データを吟味し、自分なりの結論を導き、社会

の変革につなげていく、この一連の知的な営みが『探究』です。先に言及した『地域の商品開発・課題解決』も、探究学習の成果として高校生から発出されています。この探究を、是非PTA活動にも取り入れていただければ、私はうれしく思います。自分たちの視点で学校の課題は何かを捉え、地域の人に話を聞くなど必要な情報を得て成果をまとめ、学校、地域、子どもたちに呼びかけをし、変革を進めていく。PTAには、そうしたプラットフォームになってほしいと私は期待しています。新たに就任された鈴木新知事は、経営感覚に優れ、柔軟でありつつも、壁を乗り越える指向性を持った方で、就任以来前例踏襲ではいけない、新しい提案は歓迎であると呼びかけています。本日、この場には全県からPTA会長様や校長先生が集まっています。各学校のPTA活動でも、前例踏襲ではなく、子どもたちのためになるものと確信を持てるなら、新しいことをどんどん呼びかけていっていただければ素敵だと思います。今日PTAは、負担が大きいという観点からいろいろ取り沙汰されることが多いですが、新しい活動を創り出していただければ、そこに魅力を感じる方、自分から活動に関わっていく方がきつと現れるものと期待しています。PTAは、学校と家庭と地域をつなげる大切な組織、プラットフォームです。県教育委員会では、子どもたちが



池上教育長の祝辞

誰一人取り残されることなく、地域の宝として社会全体から愛情を受け、健やかに成長できるように、今後もPTAの皆様とともに取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。結びに、静岡県公立高等学校PTA連合会のみならずのご発展と、お集まりの皆様方のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。」

【ご出席の来賓の皆さま】
静岡県教育委員会
池上 重弘 様
参事兼社会教育課長 藤ヶ谷昌則 様
高校教育課長 中村 大輔 様
特別支援教育課長(代理) 上村 英昭 様
人事監 宮下 修一 様
静岡県PTA連絡協議会 会長

(4) 議事
令和五年度事業報告・決算及び監査報告、理事会推薦の本部役員・校長協会推薦の校長理事・各地区推薦の理事監事・令和六年度事業計画・予算がそれぞれ承認されました。本年度役員については、8ページにお名前を記載しました。その他総会資料については、県高P連のホームページ「総会・研修会報告」でご覧いただけます。ぜひ、ご参照ください。

静岡県公立高等学校PTA連合会 (hs-pta-shizuoka.net)

(5) 新会長あいさつ
役員承認の後、新会長と四名の新副会長が、あいさつや自己紹介をしました。住吉新会長のあいさつを紹介します。「令和六年度静岡県公立高等学校PTA連合会の会長を新たに拝命いたしました住吉明と申します。どうぞよろしくお願いたします。」

私は令和二年度に県立静岡農業高等学校PTA会長、令和四・五年度は県高P連の副会長を務めさせていただきました。私のPTA活動参加のきっかけは、長男が私の母校でもある静岡県立静岡農業高等学校への入学が決まり、当時同校のPTA役員をされていた方からお誘いを受けたことでした。これも何かの縁だと思いましたが、高校時代に先生方や父兄の方々に大変お世話になり、少しでもお役に立てればと思い本部役員を引き受けました。成長する時期の子どもたちを近くで感じることで、文化祭などの学校行事を役員の皆さまや生徒たちと一緒にやるのはとても楽しく、今ではPTA役員を受けてよかったなと感じています。PTA活動の目的は『教育課題の共有や解決』『学びや交流』『地域とのつながり』などに加え、『子どもたちのために保護者と学校が話し合う場』であると私は考えています。一方でPTA活動の課題として平日の活動もあり、保護者の皆さんにご負担をお掛けすることもあることも事実です。何より、活動する私たちが楽しくなければいけません。人とのつながりを大切に、PTAを楽しみましょう。」

【研修会（講演会）】

「AI時代を生きる子どもたちの

『能力』を引き出す3つの方法」

講師 石田 勝紀 氏

一般社団法人教育デザインラボ 代表理事 石田勝紀氏は、二十歳で学習塾を創業して以来、長年教育の分野に携わり、今まで四千人を超える生徒たちに対して、心を高め、生活習慣を整え、考えさせるという三つを柱として、自己肯定感を高める指導をされてきました。二〇〇三年には、中高一貫の私立学校

の常務理事に就任して、大規模な経営改革を実行し、在籍する教員の指導力向上にも取り組んだ経験も持つていらつしやいます。現在は、一般社団法人教育デザインラボ代表理事を務めるかわら、著書の執筆や講演、また、子育てや教育の学びの場としての「ママカフェ」の主宰など、多方面でご活躍されています。講演は、ご自身の高校時代と大学受験での失敗を振り返り、失敗した理由は当時の自分に「考える力」が欠けていたからであったと自己分析をすることから始まりました。具体的なお話に参加者は引き込まれていきました。以下、当日の講演で教えていただいたことを列挙します。

- ・自分は高校在籍中は学力が伸び悩んだが、それは当時の勉強が気合いと根性でとにかく覚えるだけで、考えなかつたことが原因である。大学で受験浪人し、初めて新聞や本を読み始め、問題を解いて間違える理由をしつかり考えるようにしたら、びっくりするほど簡単に学力が伸びた。塾を開いたのは、この経験若者に伝えようと思ったからである。
- ・塾で教え始めて、多くの子どもたちが「自己肯定感」を持つていないことに気がついた。その理由は、小中高十二年間の中で、成績、序列、偏差値といった勉強だけの尺度で凹まされたからである。周りが潰さず、自己肯定感を育てれば、子どもたちは自分で自分の短所を修正していくものである。
- ・教育は産業界の求めに応じた人材をつくるため、現在の教育が目指す人物像には、IT企業の求める人材の在り方が大きな影響を与えている。ちなみに、今の日本の新しい教育が目指している人物像（二十一世紀型能力）とは、「自分で考え、表現し、判断し、実際の社会で役立てる人物」である。
- ・AI時代を生きる子どもたちに必要

な力は、「①考える力 ②創造力 ③人を大切にできる力」であると捉えている。「考える力」は、パソコンのOSのようなもので、学校のいろいろな勉強で知識を習得（パソコンで言うところのインストール）させようとしても、OSのバージョンが低いと受け入れられない。基本となる考える力を育てるには、疑問を持たせたり、要約したり、共通部分を見つけさせたりして、物事をまとめる力を身につけさせていくと良い。「創造力」とは、新しいものを作り出す力であるが、周囲の大人が子どもへの失敗や間違いを許容し、短所を直さず長所を引き出し、人と同じことをしない習慣を形作り、自分はどうすればいいか考えさせることから身につけていく。「人を大切にする力」は、自己肯定感が満たされて、初めて身につけていくことが重要である。

講演の最後に、石田氏は自己肯定感を下げる子どもへの声かけ（ブラックワード）と、上げる声かけ（マジックワード）の具体例を紹介してくださいました。参加者からは、子どもが小さかった時にこの話を聞きたかったという声があがり、軽快でフレンドリーな語り口が、講師の気さくな性格をよく表していました。たくさんの方々が最後の熱心に聞き、終了後の講師自身による執筆書籍の販売会も、早々に持ち込んだ書籍が完売し、大変充実した研修会でした。



講師への花束贈呈

東海地区高等学校PTA連合会
三重大会 報告

六月二十一日（金）、令和六年度東海地区高等学校PTA連合会三重大会が、津市の三重県文化会館大ホールで開催され、東海四県から約八五〇名の参加がありました（本県からは百九十六名が参加）。来年度は全国高P連大会「三重大会」が開催されることもあり、三重県のスタツプは皆揃っていました。開会のポロシャツを着用していました。開会式では、東海地区高P連の小野喜照会長、全国高P連の山田博章会長が主催者として挨拶し、来賓の三重県教育委員会教育長の福永和伸様、三重県立学校長会会長の早川巖様から祝辞をいただきました。

【研究協議】三重県立神戸高校PTAが「これからのPTA活動」、愛知県立半田工科高校PTAが「コロナ禍に委員でつくるPTA活動」というテーマで発表しました。両校とも、コロナ禍で著しく活動が抑制された時を経て、どのようにPTA活動をより有効な活動とできるのかを役員中心に検討した結果、残すべきものはしっかり残り、時代や状況に応じ変化させながら、より良い形や内容のPTA活動となったことが発表されました。発表後は質疑応答も活発に行われ、気づきの多い時間となりました。

【講演会】地球の広報・旅人・エッセイストたかのてるこさんが「世界は愛でできている！自分の全細胞が、毎日、自分自身を応援している！」と題して講演を行いました。楽しく元気をもたらした九十分間でした。大会の締めくくりは、本県を代表して住吉県会長が閉会のあいさつをし、来年度は令和七年六月二十七日（金）に静岡市清水文化会館マリナートで開催することが報告され、三重大会を終えました。

静岡県立三島北高等学校

学校紹介



明治三十四年の静岡県田方郡立三島高等女学校としての創立以来、高い志を持った地域・社会を担う人材の育成に取り組んできました。

長い歴史と輝かしい伝統は醇美な校風とともに受け継がれ、校訓「自律」の下、結束の固い同窓会や後援会に支えられ、生徒は日々伸び伸びと充実した学校生活を送っています。

「イノベティブなグローバル人材の育成」を掲げ、世界中の仲間と新たな価値を創造する力を育むため、探究心・主体性・協働性を育む課題探究型学習や、海外でのフィールドワークや海外高校との協働プロジェクト等のグローバル教育を実践している学校です。



校長 松下 明子

PTA紹介



本校PTAは十六名の本部役員と五つの専門委員会と活動しています。本部役員は三年生保護者五名、十三の地区から選ばれた二年生保護者十三名からなり専門委員会は総務・文化体育・広報・生活・進路委員会の五つで構成されています。

各委員会の主な活動は総務が紫苑祭での饅頭の販売・制服の回収および在庫管理、文化体育が紫苑祭でのカレー販売・PTA研修会の企画運営、広報がPTA通信の発行・サンバパレードの警備、生活も同じくサンバパレードの警備と紫苑祭での制服リサイクル、進路がPTA講演会と银杏並木の清掃となっています。また本部役員はPTA総会や理事会の開催・各委員会と学校との橋渡しを行います。今年度はコロナ感染症の影響もなく、PTA総会・紫苑祭と

順調に事業を進めています。理事会も少しでも親御さんの負担が減る様にリポートでの開催にも取り組んでいます。PTA離れが叫ばれる中、原点に立ち返り子供たちにとって何が必要で何が不要なのかを学校と一緒に模索しながら、より良い活動が出来るように日々頑張っています。



PTA会長 海野 祐一

静岡市立高等学校

学校紹介



本校は、中等教育への進学希望者の急増という地域の要請により、静岡市立第一中学校として昭和十四年に設立が認可されたのが始まりとされています。昭和二十三年度には定時制課程を併設し静岡市立高等学校となり、令和三年度末をもって定時制課程が閉課程となり現在に至っています。設立以来、

八十年以上にわたる歴史と伝統を有し、地域の方々からは「市高(いちこう)」の愛称で親しまれてきました。「質実剛健」の気風を継承し、「正しく、強く、明るく」の校訓のもと、「文武両道」を目指し、地域社会や国際社会に貢献できる、調和のとれた創造的な人間を育成することを教育目標としておりま

す。平成二十三年には従来の普通科に加え「科学探究科」を設置し、平成二十五年度からは文部科学省よりスーパーサイエンス・ハイスクール(SHS)の指定を受け、本年度より第三期に入り、全校で探究学習など様々なプログラムに取り組んでいます。



校長 飯田 寛志

PTA紹介



本校PTAは、保護者・教職員四十一名で構成される常任評議員を中心に、百六十二名の評議員の協力を得て活動を行っています。評議員は育成・教育振興・厚生会の三つの委員会に分かれ、交通安全街頭

バザー「のみの市」の開催、校内研修・大学訪問の実施、PTA会報・新聞発行など様々な活動に取り組んでいます。コロナ禍の中で三年ぐらい活動が縮小していた時期がありましたが、生徒たちのためにできることを考えて活動してきました。例えば、文化祭・体育大会が非公開になっていた時期でも、PTA役員で動画撮影をし、編集して後日配信をして保護者の皆様楽しんでいただきました。また、定時制の閉課程とともに食堂が閉鎖されましたが、弁当業者を探し、毎日販売できるようにしました。今後も、子供たちの成長のためにできることを考えながら、活動をしていきたいと思

います。



PTA会長 大森 公香

静岡県立天竜高等学校

学校紹介



天竜高等学校は、長きにわたり地元天竜区の高等学校教育を担い、素晴らしい歴史と伝統を有する天竜農業高等学校、二俣高等学校、春野高等学校の三校の再編整備により、二俣校舎と春野校舎からなる高等学校として、平成二十六年四月に開校しました。令和五年十一月には開校十周年記念式典が挙行され、今年度は、新たなステージとなる十一年度がスタートしました。

二俣校舎には森林・環境科、総合学科及び福祉科、春野校舎には普通科を設置し、生徒の幅広い興味・関心や進路希望に対応するための教育を行っている。二俣校舎では、地域の自然や文化を愛し、地域の発展に貢献することができる人財、自らの目標に向かって粘り強く努力し、未来を切り拓くことができる人財の育成を目指して教育活動を行っています。そのため、本校では、地域協働センターを設置し、地域連携と自己探究に力を入れています。今年度は、「地域ふれあい交流活動」を実施し、引き続き、中山間地域ブランドングのためのプロモーション動画、パンフレット、ポスターの作成と配布、地域住民と中高生の交流事業などを実施しています。また、授業や部活動等さまざまな場面においても、地域の方々や施設、近隣の大学と連携をとりながら主体的・体験的な探究活動に取り組んでいます。

校長 渡辺 二三彦

PTA紹介

PTA活動は、基本的に各学年で分担しています。一年次は、朝の交通安全・挨拶運動に参加し、正門および自転車通門で生徒の登校を見守ります。二年次は、学校保健委員会(校医による研修)に出席します。三年次は、就職を希望する生徒に対し、模擬面接の面接官をします。なお、令和五年度より、一年生および二年生のPTA役員にも模擬面接指導への参加を依頼し、指導を充実させました。この面接指導は学校運営協議会でも高い評価を受けています。令和元年度には、文部科学大臣から優良PTAとして表彰されました。コロナ禍で様々なPTA活動の縮小、見直しをしてきましたが、今年度は文化祭に合わせ、本校敷地内にある『天竜会館』を五年振りに公開することができました。事前的館内の大掃除は大変でしたが、旧二俣高校卒業生であり、日本画家の秋野不矩さんの収蔵品、旧天竜林業高校時代の展示物などを、多くの来場者に見学していただきました。天竜高校は開校以来、地域の方々が、授業をはじめ、様々な教育活動に對して、大変協力的です。PTAとしても、地域の発展を考えながら、教育活動に貢献できる取り組みを行っていききたいと思います。



PTA会長 町田 和代

静岡県立吉田特別支援学校

学校紹介

本校は、県立吉田高等学校の統合再編成に伴い、その校舎等を特別支援学校の仕様に改修して開校した比較的歴史の浅い学校です。同じ地区にある特別支援学校の狭隘化と児童生徒の通学負担軽減のため、小中高等部に知的肢体課程が併置された開校でした。

そんな本校も、令和七年度に開校十周年を迎えます。もともと地域との繋がりの深かった吉田高等学校の特色を受け継ぎ、地域と共に歩む特別支援学校となりました。ボランティア先生と呼ばれる地域の様々な技術をお持ちの方々が、何人も授業に入ってください。

五月に行った全校あげでの運動会には近隣の高校、大学全六校から九十人を超えるボランティアの方々の方が参加があり、ますます、地域との繋がりが深くなっていくことに感謝しています。教育理念にありますように、「これからは「つながり合い学び合い」ながら、共生共育の素晴らしい社会を築いていきます。」の素晴らしい社会を築いていきます。



校長 伊藤 聖子

PTA紹介

本校のPTAは、本部役員(相談役、会長、会長補佐、副会長)を中心に、四つの専門委員会(厚生・防災、広報、環境整備、進路対策)と、五つの地区会(御前崎地区、牧之原地区、吉田地区、島田地区、焼津地区)で構成されています。



私たちは学校や地域とスクラムを組み、よしくサポーターズとして、本校に通う生徒・児童が毎日楽しく過ごすために、また、有意義な生活を送るために、そして将来設計のために活動を行っております。

コロナによって止まっていた時間は動き出しました。コロナの産物により活動のスリム化、効率化、合理化が求められる昨今ではありますが、私たちよしくサポーターズは保護者も子供も教職員も地域住民も含め「みんなが暮らしやすい社会の実現」を目指して今後も活動していきたいと思えます。



PTA会長 畑 和幸

「高校生の健康・安全に係る事業紹介」 県教育委員会 健康体育課

県教育委員会健康体育課では、高校生の心身の健康管理及び安全管理について、各学校等と連携しながら、課題の解決に向け、業務に当たっております。

生徒の自治を中心とした部活動推進事業

学校教育の一環として行われる部活動は、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものです。

一方、教員の働き方改革、生徒や保護者ニーズの多様化、体罰及び不適切な言動等の課題も存在しており、その解決の手段として、生徒の自治を中心とした部活動への転換が注目されています。

本事業では、広島県立広島観音高等学校サッカー部を全国総体初出場・初優勝に導いた畑喜美夫氏が提唱するボトムアップ理論の実践を通じ、合理的且つ効率的・効果的な活動、一人ひとりが主体的に考え、行動を起こす自主自立した組織づくりを目指し、県内の各地区指定校において取組を実施します。

生徒同士で部活動の方向性や各自の取組姿勢、試合での作戦や練習に係る事柄等について道筋を立てて話し合い、目標達成・課題解決に向けて必要な取組を実践、得られた成果を共有します。

【指定校】

御殿場高校、静岡西高校、磐田南高校

部活動指導員育成配置事業

県立高校において持続可能な部活動の運営体制を整えるため、顧問に代わって部活動の単独指導・単独引率が可能な部活動指導員を配置することにより、生徒のニーズを踏まえた部活動の充実・

運動機会の確保を図ります。併せて、顧問の時間的・精神的負担の軽減を図り、教員の働き方改革を支援しています。
【令和六年度配置予定】百一人

しずおか型部活動推進事業

部活動の専門的指導力を持った教員不足や顧問を希望する教員の減少等に対し、生徒・保護者・地域のニーズに対応するため、外部指導者等の活用を推進し、部活動を取り巻く諸課題の改善、一層の活性化に取り組んでいます。

- ①「スポーツエキスパート」派遣事業
運動部活動の専門的スキルを持った地域人材を県立学校等に派遣しています。
- ②令和六年度配置予定【九十七人】
大学生等による部活動支援ボランティア事業

県内の大学生を公立中学校、高校等へ部活動支援ボランティアとして派遣しています。
【令和六年度配置予定】二十一人

「社会総がかりで取り組む教育」 県教育委員会 社会教育課

県教育委員会社会教育課では、学校・家庭・地域等の連携による社会総がかりで取り組む『有徳の人』づくりを進めています。

地域ぐるみの教育の推進

PTAの活動を経験した多くの方々や、「地域学校協働活動推進員」や「家庭教育支援員」として、学校・家庭・地域をつなぎ、地域の教育活動の中心となり、未来を担う子供の成長を支援する人材として活躍しています。子育ての経験や得意分野のスキルを生かして、地域で行われる様々な活動に参加していただける方を募集しています。

○地域学校協働活動

PTA、地域の高齢者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるために、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を目指して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進に取り組んでいます。授業や部活動、キャリア教育等の地域による支援や子供たちの地域行事への参画などを促進しています。また、放課後等に学習支援を行う「学習寺子屋」では、大学生や高校生が学習支援ボランティアとして参加し、活躍しています。地域で育った子供が、地域の子供を育てる人材となる「教育の循環」が生まれています。

○家庭教育の支援

すべての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、身近な地域で家庭教育を支援する「家庭教育支援員」や「家庭教育支援チーム」により、学校や地域と連携した支援活動を推進しています。静岡県家庭教育実態調査では、子供が感じている保護者が多いことがわかりました。安全なネットの利用方法や、ネット使用時のルール作りの大切さを伝える「スマホルールアドバイザー」の養成を行っており、令和五年度は二万人以上に啓発活動を行いました。

青少年の健全育成

「親子で話そう!!」わが家のスマホルールの普及や青少年の体験活動の推進、不登校やひきこもりなどの困難を有する子供・若者の支援、「青少年声掛け運動」の実施など、保護者や地域団体等と協力し、青少年の健全育成に取り組んでいます。

○インターネット利用による被害等の防止
インターネットの利用をきっかけとしたトラブルや自撮り被害などから子供を守るため、フィルタリングの活用やペアレンタルコントロールの活用及び啓発に努めるなど、青少年を取り巻く環境整備に取り組んでいます。

携帯電話等の所持率	
高校生	R 5 99.8% (R4 99.8%)
中学生	R 5 90.3% (R4 83.5%)

(県学校対象調査)

○「ふじのくにアイマップ」「合同相談会

ニートやひきこもり、不登校、発達障害などで悩んでいる子供・若者やその家族の支援に関わっている静岡県内の支援団体・相談機関を紹介する「ふじのくにアイマップ」を作成しています。県内教育機関をはじめ、医療機関やショッピングセンターなどへ配布し、広く活用いただけるよう取り組んでいます。

また、「ふじのくにアイマップ」に掲載されている支援団体と個別に相談ができる「合同相談会」を、開催市と連携して実施しています。令和六年度は六月二十九日の静岡市を皮切りに、沼津市・富士市・浜松市・島田市で開催します。



ふじのくにアイマップ



合同相談会

※県社会教育課ホームページから資料等がダウンロードできます

静岡県 社会教育 検索

令和6年度 単位PTA 会長名簿

Table with 4 columns: NO., 学校名, 会長氏名. Lists PTA presidents for various schools in Shizuoka Prefecture for the 2024 fiscal year.

令和6年度 静岡県高P連 役員名簿

Table with 6 columns: No., 役職, 地区世話人校理事研修会担当校理事, 氏名, 学校名, 推薦地区推薦者. Lists PTA officers and their roles.

編集後記

少子化による学校再編、コロナ禍、人口減少、異常気象と激甚災害、VUCA…今まで誰も経験してこなかった出来事を乗り越え、新しい活動を目指して団結する、各校PTAのまじめな取組ぶりを、県でも、東海・全国でもよく目にします。高P連のいろいろな集まりで、本部役員、理事監事、各校の役員など、多くの方々と接する機会がありますが、それは自分の仕事や家庭でやらなければならないことを抱えながらも、子どもたちや学校のためにと踏ん張っている見返りなしのたくさんの善意と接しているということでもあるとつくづく感じています。本号の冒頭あいさつで、住吉新会長が全力で前に進もうとする子どもたちの姿に感心されていますが、私たち事務局員は子どもや学校を応援しようとするPTA会員の皆さまの前向きなお姿に大きな力をもらっています。(事務局長)